

グラビア	地域を支える人 藤井裕章さん・京都市上京区役所 地域力推進室	1
発掘！地域の希望のタネ	沖縄県石垣市〈石垣島ツナ〉	5
給食のじかん	〈荻わかめのきんぴら〉新潟市現労学校調理員部会 高井貴子	6
	気候変動の緩和と適応	8
焦点	認知症になっても地域でくらし続けられるために 一徘徊踏切事故判決を受けて 柴田範子	10

特集

気候変動の緩和と適応

パリ協定後の自治体温暖化対策	山岸尚之	18
気候変動に対応するまちづくり —気候変動影響への「適応社会」	田中 充	25
水田の多面的機能と貯水能力を活用した「田んぼダム」による洪水緩和—新潟県見附市	椿 一雅	32
特別天然記念物ライチョウを気候変動から守る—長野県	堀田昌伸	36
温暖化に対応した新たな果樹栽培をめざして—山形県	野仲 学	41
官民連携でクールシティしながわの実現へ—東京都品川区	大木秀夫	46
『全国部落調査』復刻版発行を許さない	江崎 孝	50
3・11 被災地からの声③岩手から		52

さき咲きコラム	『全国部落調査』復刻版発行を許さない	江崎 孝	50
メッセージ	3・11 被災地からの声③岩手から		52

連載	永続地帯をゆく② 風の力で100%自然エネルギーの地域に 松原弘道	54
自治研チャレンジサポートのススメ	「じちけん集会」で自治研の“芽”探しを体験—静岡県本部 佐野ひかる	60
各県自治研活動レポート	終わることの無い 試行錯誤—自治労香川県本部 澁川 学	62
書評	三浦まり著『私たちの声を議会へ』 菅原敏夫	64
連載	『月刊自治研』を読む⑦自治研一〇年 篠田 徹	65

自治研センターの機関誌案内	71
次号予告・編集部から	72

気候変動の緩和と適応

新潟県見附市

貯水力を生かした「田んぼダム」で水害を緩和

ゲリラ豪雨による浸水被害が多発するなか、田んぼのもつ貯水機能を生かした「田んぼダム」が注目されています。新潟大学や地元農家の協力を得て実施されてきた事業の取り組みと効果を紹介します。
(本誌三二頁)



長野県
ライチョウの山を守る

寒冷な高山帯にしか生息できない特別天然記念物のライチョウ。その生息地が温暖化の影響で失われるかもしれないことが、調査により明らかになりました。関係機関が一堂に会し、適応化を話し合うプラットフォームづくりがはじまっています。
(本誌三六頁)

山形県
温暖化に適した果樹栽培の研究がスタート

果樹王国で知られる山形県にとつて、温暖化による栽培適地の北上は見逃ごせない問題です。将来的な適地移動を見越して、カンキツ系果樹の栽培に向けた試行錯誤が進められています。
(本誌四一頁)



東京都品川区
まちぐるみで進める
クールシェア事業

夏場の熱中症予防対策として、公共施設を活用した避暑シェアター事業に取り組み品川区。地域全体の節電につながり、高齢者のひきこもり防止にも役立つクールシェアの取り組みを紹介します。
(本誌四六頁)



迫る温暖化の脅威に対して、自治体はどのような対策を取るべきか。温暖化適応策には地域の影響予測と脆弱性の把握、異なる主体間の連携が不可欠です。各地でスタートしているさまざまな取り組みを紹介いたします。